

平成25年度糖尿病対策成果発表会
団体取組
糖尿病看護ケア研究会

報告者

糖尿病看護ケア研究会代表
稲垣美智子(金沢大学)

事業の概要

プログラム名

糖尿病腎症予防に貢献できる高度・専門人材(看護師)養成プログラム

主な内容 (研修会実施回数:6月から始まり12月まで毎月1~2回開催を継続した)

1、糖尿病腎症悪化予防に関する研修会開催

能登および加賀地区同時開催で3回シリーズ

1回について、3つの内容の講義(9テーマを2地区で開催)

2、糖尿病療養指導に関する研修会の開催

5回開催(うち1回は能登地区と加賀地区同時開催)

3、地域におけるリーダー研修の開催

3回開催

4、関連講義ができる人材の育成

研究会メンバーの学習会開催

教材の作成と講義担当

各内容のテーマ例

1、糖尿病腎症悪化予防に関する研修会開催

患者に説明したい“糖尿病腎症である体と治療の関係”
糖尿病腎症各期の看護の特徴—身体、心理、社会的特徴—
チーム医療の重要性と看護の役割……等

2、糖尿病療養指導に関する研修会の開催

糖尿病療養指導・教育における基本
事例検討1：自己中断を繰り返す高齢者との関わり—他職種との
チーム医療から—
……等

3、地域におけるリーダー研修の開催

チーム医療における交渉力・コミュニケーション
糖尿病療養指導と医療経済の関係
糖尿病ケアを評価する：統計

4、関連講義ができる人材の育成

研究会メンバーの学習会開催
教材の作成と講義担当

成果の概要

- | | |
|---|-------|
| 1、糖尿病腎症悪化予防に関する研修会開催
能登および加賀地区同時開催で3回シリーズ
受講者140人
能登北部での糖尿病チームの立ち上がり | 評価 進展 |
| 2、糖尿病療養指導に関する研修会の開催(5回)
受講生:471人 | 評価 継続 |
| 3、地域におけるリーダー研修の開催(3回)
受講生:126人 | 評価 継続 |
| 4、関連講義ができる人材の育成
研究会メンバーの学習会開催:研修会
教材の作成と講義担当:一人当たり2~3回 | 評価 進展 |

受講者は重複参加有



事例検討会の様子



統計の受講



研究会メンバーによる講義

本プログラム継続の必要性と今後の計画

石川県における貢献

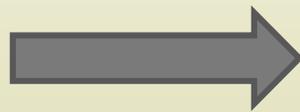
能登北部・中部および加賀地区において専門医の不足、地理的及び人材的な原因によるメディカルスタッフ研修機会の困難さ



受講生の拡大が可能、開催日程、時間場所など今後検討する

重症化予防の具体的な展開例を提示することへの貢献

全国でも具体的展開はほとんど提示されていない。



現行の知識と技術を集結しエビデンスを持つモデルを創っていくことを検討する。

具体的な展開予定

プログラムのコンセプトの継続と新規

1

石川県のどの地域においても、糖尿病腎症予防に詳しい看護師のいる環境を創る

・能登地区、加賀地区で同時開催する研修会
<継続>

2

自分の地域で自分達の手で、持続可能な研修環境の進展を図る

・研究会メンバーの全員参加による講義の継続
・講義のできる人材育成<新規>

3

糖尿病腎症看護の標準プログラム知識を普及する

1と合体して継続
<継続>

4: 新規

新しいセルフヘルプグループ・患者会と連携した糖尿病療養を構築する

・患者会およびその支援方法に関するプログラムの検討
<新規>